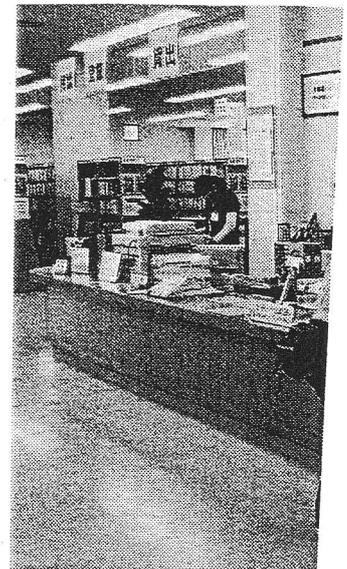


指定管 大



利用

「満足」60・5%で、合わせて91・2%が満足と答えた。「職員の対応」は94%、「利用しやすさ」91・5%、さらに「館

【小山】明治から昭和にかけての間々田地区をテーマにした写真展が六日まで、市博物館で開かれている。同館北側の乙女かわらの里公園とその周辺で開かれている「ままだふるさとまつり」の一環。昔の街の姿に思いをさせてもらおうと企画された。写真は、

オカリナ100個そば店壁へ

佐野の須藤さんの故谷さんの思い込める



オカリナ作りに汗を流す須藤さんの友人たち

【佐野】旧田沼町で

オカリナの普及に力を注いだ故谷力さんのいとこで、五月に植下町でそば店を開業する須藤聖志さん(四)もが五日、白岩町の高谷オカリナの里で、友人らとともに外壁に埋め込む百個のオカリナ作りに取り組んだ。大手電機メーカーに勤めていた須藤さんは

「残りの人生を好きなことに費やしたい」と早期退職を決意。千葉県などでの修業を経て独立にこぎ着けた。

谷さんは、故火山久さんや宗次郎さんらとともに、オカリナ発展の礎を築いた。十四年前からは、旧田沼町商工会(現・市あそ商工会)青年部がオカリナの里づくりを続けている。

谷さんの実家が近所だったこともあり、須藤さんにとっては兄のような存在。オカリナ

谷さんからオカリナ作りを教わった谷東二さん(五)の説明を受け、粘土と型を使って手際よく作業を進めた。後日谷さんが焼いて最終仕上げをするという。

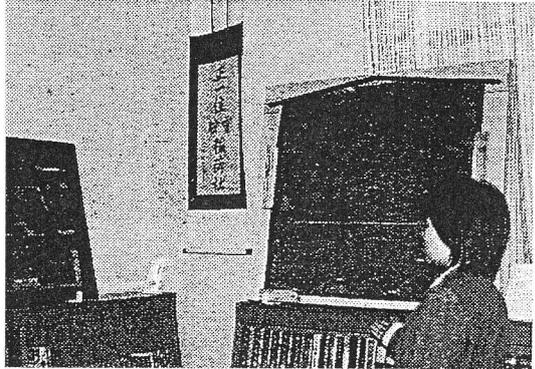
店を整骨院をリフォームしたもので、壁に百個のオカリナが埋め込まれたデザインになる。須藤さんは「そばだけでなく、オカリナやフォークコンサートも開き、人が集える店にしたい」と話していた。

店を整骨院をリフォームしたもので、壁に百個のオカリナが埋め込まれたデザインになる。須藤さんは「そばだけでなく、オカリナやフォークコンサートも開き、人が集える店にしたい」と話していた。

アルミ茶道具熱い一服

具で抹茶と和菓子を楽しんでいた。ぎるなどまだ改良すべき

貴重な絵馬など公開 足利学校の霊験稲荷社



田井進協賛